

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ひ ら の 第 6 (43) 号

発行日 平成 28 年 2月 8 日

発行者 富良野看護専門学校

<教育状況報告> 「臨地実習を振り返って」 教務主査 佐々木 正美

2月の2年生の実習を最後に、今年度全学年の実習が終了となります。3年生に至っては、5月からの連続実習 1035 時間を無事乗り越え、3年間の学習の集大成でもある国家試験に向けて、現在は「勇往邁進」の真っ只中です。

臨地実習は学生が看護の本質に触れ、対象と向き合い、学んだ内容を看護の場で生かしかつ統合していく学習のプロセスと言えます。また、多様な価値観、多様な人間像に気付き、多くの失敗体験、少しの成功体験を積み重ねながら実践力を高め、かつ自己成長していく過程です。看護師になるためには、専門分野の学習を深めていくことはもちろんですが、職業に必要な倫理観、責任感、人権を尊重できる温かな人間性などを培っていくことが重要です。未熟な学生にとって、これらはハードルが高く、非常に厳しいことではありますが、臨地実習を乗り越える度、力強くそして大きく成長していく姿に、「可能性を秘めた存在」として再認識させられたことが多くありました。

思うようにできない自分と向きあう辛さ、それを乗り越えた喜び、達成感などを支えつつ、「涙と笑顔」を温かく見守りながら、今後も後押ししていきたいと思います。

今年度も学生の学びを支えて下さったたくさんの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第1学年「体験学習」(H27.9.10 富良野自然塾)に参加して~その2~

\*「実体験からの学び」の感想をアンケートの一部抜粋により掲載しました。  
とても楽しかった。特に「地球の歴史の道」では、地球の全面凍結の話や知らないことばかりでとても興味をもったし、人間っておろかな生き物なんだなぁーと感じた。

今回の体験学習を通して、人間が生活していくためには、森林というものは必要不可欠なものだと言うことを改めて認識することができました。その貴重な森林を守るという意識を持つということが大切なだとわかりました。ありがとうございました。

地球の歴史を聞いて、どのように変化し、現在の便利さにいたるまでどれ程の発達期間だったのかを知りました。自然の話を聞き、どれ程自然が少なくなり、どう地球が成り立っているのかを知り、自然を大切にしなければならないなど実感できました。

体験学習先の話をして頂いた方の説明が分りやすく素晴らしいと感じました。内容的なものもあると思いますが、説明して頂く人によって興味を強くひかれたり、楽しく学ぶことができると実感しました。数年したら植えた木を見に行きたいと思います。

寒かったけれど日常生活での自分の行動を見直すよい機会でした。体験学習でどこか遠くに感じていた地球温暖化や環境について身近に感じ、考えることができました。

「百聞は一見に如(し)かず」の言葉通り、自分の五感・身体で直に見、聞き、感じて学ぶことの意義は大きく、恵まれた地域の自然を生かした体験学習が今後も期待されます。

・・・ SCHEDULE ・・・ 1/25 ~ 3/4 の行事・動向(含終了)

- 1/25(月) 基礎看護学 実習(1学年)(~2/5金)  
2/5(金) 富良野看護専門学校入学試験合格発表  
2/15(月) 成人看護学 実習(2学年)(~3/3木)  
2/14(日) 第105回看護師国家試験(札幌市)  
2/29(月) 卒前研修「講演」 3/1(火) 卒前研修「接遇・マナー」  
3/3(木) 全学年情報交換会 予餞会  
3/4(金) 平成27年度第20期生卒業式 謝恩会

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

万全ですか?『インフルエンザ』対策

インフルエンザへの大切な備えは、まず「かからないための予防」。感染したら「重症化させない」「周囲に広めない」こと。飛沫感染して1~3日間程の潜伏期間後に突然38度異常の高熱、頭痛、全身倦怠感等が現われ、時には重症化し死亡の危険もあります。

予防接種により一定程度発病が抑えられますが、外出時のマスク、手洗い・うがい、室内の適度な温度・湿度、栄養と睡眠の確保などが感染を防ぐ予防実践。また、「体調がちょっと変だ」と思ったら自己診断せず早めに医療機関を受診し、インフルエンザと診断されたら自宅でしっかり療養します。初期症状に効く抗ウイルス剤により、かかって2日以内であれば重症化せずに済む場合もあります。(出典「共済健康ニュース」H27年11月号)

†††

あ・ん・て・な

ANTENNA

†††

第105回看護師国家試験 ~ 2月14日(日) 札幌コンベンションセンター

看護師を目指す者にとっての最後で最大の関門である看護師国家試験が間近となっていました。3年間、寝食を忘れるような日々もあった厳しい学内の授業、臨地実習に学び、多くの困難を克服して所定の課程を修了し、国家試験に臨む学生28名全員に心から応援のエールを送ります。最後まで全力でベストを尽くすことが出来るよう体調維持に万全を期し、元気一杯に臨めば、必ずやよい結果がついてくると確信しています。祈全員合格!!

ささやき S & T ・・・ 学生の 教員の みんなの声

S: 看護師国家試験まで1ヶ月をきりました。看護師になれるまであと一步の所まできました。3年間の学内での学習と実習での学びを統合し、看護師になる確実な知識を身に付け、当日を迎えるといいます。(3年高橋歩) S: 冬休み中不規則な生活を送っていたため、学校が始まり朝布団から出るのがとても辛いです。もうすぐ実習があるのでインフルエンザ予防をし、体調を整えていきたいと思います。(2年佐々木愛美) S: 1年生最後の実習が2月5日に終了しました。レポートなど辛かったです、患者様と接して笑顔を見せてくれたりするのが嬉しく毎日楽しく実習することができました。2年生になつても頑張りたいです。(1年牧野彩美) (投稿日の差により一部時期の合わない内容があります)

T: 国家試験まであと1週間ですね。真剣に頑張っている3年生。実習を控えてドキドキの2年生。緊張の中、実習が終了した1年生。それぞれに桜が満開に咲きますように。

(教員 後藤里枝)